

総合福祉学科3年 第5期実習

令和4年8月1日(月)～9月3日(土)

「目標・目的を持つことの大切さ」

総合福祉学科3年 森田 花奈

私は、第5期社会福祉現場実習で介護老人保健施設へ行きました。今回の実習では、「退所支援」「援助関係の形成方法」を理解することが目標でした。

「援助関係の形成方法」については、面接や訪問を通して、家族と関係を築くことの難しさを知りました。

クライアントは何かしらの“困りごと”を抱えており、相談員に伝えたいことが山ほどありました。実習中、指導者さんの横でご家族の話をお聴きする機会がありましたが、メモすることに必死で傾聴の姿勢を持っていませんでした。何度も相談や面接の場に同席させていただき、次第に必要な情報収集と傾聴の姿勢を身につけられ目標の1つを達成することができました。

また私は、具体的な目標を立てることを常に意識しました。毎日立てた目標は、何かしらの形で達成しようと行動に移し、言語化、可視化することで何を学びたいのかを指導者さんに伝えることができたと思います。実習中、指示待ちになることがないよう、自分の意志を伝えてきました。相手に伝えることで得られたものや学びは多かったです。

現場に出てからも目標を設定することで計画的・効率的に業務に携わり、自分の意志を行動で示していきたいと思っています。

令和4年度 秋季スポーツ大会

令和4年9月27日(火)実施

「秋季スポーツ大会を終えて」

音響&映像メディアクリエイティブ学科2年 小川 達也

後期最初の行事でもある秋季スポーツ大会にご協力いただきありがとうございます。学生会、スポーツ大会実行委員を始めとして多くの学生の方々が準備から片付けまで協力していただいたおかげで無事に終えることができました。

今回は男子がバスケットボール、女子はバレーボールという種目となりましたが楽しめたでしょうか？各チーム経験者を中心に白熱した試合が多くあったように思います。私自身、普段の学校生活で体を動かすことが少なかったため、良いリフレッシュになりました。また、他の学科、学年の学生と交流でき、クラスの中を深める良い機会にもなりました。

卒業年次ということもあり、秋季スポーツ大会がクラスで最後のスポーツ大会になります。ここで得た経験を今後の学生生活だけでなく就職後にも活かしていけるようにしていきたいと思っています。

今後の学園祭・文化祭は学生会会長として学生みんなが楽しめるよう頑張っていきますので、ご協力よろしくお願いします！

「秋季スポーツ大会を終えて」

総合福祉学科2年 小笠原 悠斗

私は今回のスポーツ大会で他学年、他学科との交流を楽しみ、多くの方達と仲を深める事が出来ました。

私のチームは自分のクラス以外に2CW、3TW、ORTの方々がありました。2CWや3TWの方達は普段から交流がありますが、ORTの方とは初めてお話をしました。ですが直ぐに打ち解ける事ができ1試合目からチームは良い雰囲気です試合に臨むことが出来ました。

その後もチームで一致団結をし、どのチームも団結力があっても手強かったですが、全ての試合に勝つことができ、優勝することが出来ました。春は電子に負けてしまい、クラスでの優勝は今回が初めてだったためとても嬉しかったです。

そして、今回も春のスポーツ大会同様新型コロナウイルス感染対策で、競技中はマスクの着用・スタンドでの座席間・こまめな手指消毒などを、学生会・スポーツ大会実行委員を中心に行いました。マスク越しからでも仲間の笑顔が見れたり仲間に声援を送ったりと各々が感染対策を心掛けつつも、良い時間を作ることが出来ました。

学校生活も残り1年半となりました。長いようで短い3年間、これからも沢山の思い出を作っていきたいです。

11月の行事

- 1日(火) 2TW・CW第4期実習 ～11/12日(土)
- 3日(木) 文化の日
- 5日(土) オープンキャンパス 13:15～
- 7日(月) 2CP保育実習Ⅲ(保育所) 事前研修
- 11日(金) 硬筆書写技能検定
- 15日(火) 3CPメディックファーストエイド
- 17日(木) オープンキャンパス 17:00～
- 19日(土) 第2回入学選考
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) J・B検CBT 16:30～
- 28日(月) 1TW・CW第2期実習 ～12/10(土)
- 3TW第6期実習 ～12/24(土)

令和4年度 卒業生を囲む会

介護福祉学科・総合福祉学科・視能訓練士学科

令和4年9月29日(木)実施

☆川口 万亜矢さん 令和元年度CW卒業

就職先:介護老人保健施設 あみ

職 種:介護福祉士

☆中村 由加子さん 令和元年度ORT卒業

就職先:医療法人シー・オー・アイ いした眼科

職 種:視能訓練士

☆大杉 優香さん 令和3年度TW卒業

就職先:(福)明和会 障害者支援施設 あきは寮

職 種:生活支援員

『卒業生を囲む会』から学んだこと

総合福祉学科1年 石田 未知

初めての卒業生を囲む会で先輩方からお話を聴かせていただくことができました。会を通して「学ぶことができている今」を真摯に取り組む大切さを知りました。

一つ目は実習において、利用者様と関わることで学ぶことです。情報だけでなく、言葉や動作で利用者様から受ける印象も変わり、その印象が大切だと知りました。

二つ目は学校生活から学ぶことです。国家資格取得に向けて多くの教科を学習していきます。学習を通して、自分の強みや弱みを知ることができ、反省点を意識することで様々なことにつなぐことができると思いました。日々の学習も体験もよりよい「福祉のプロへの道」であると先輩方が仰って下さったことを忘れずに今後の実習や勉学に向けて意識づけたいと思います。

11月には第2期実習があります。今回の先輩方からの学びを活かし、起こることすべてが「福祉のプロへの道である」と意識づけをし、努力をしていきたいです。

「卒業生を囲む会に参加して」

視能訓練士学科1年 稲葉 実桜

「卒業生を囲む会」では、私たちが1期生のため、3年制の卒業生が出ていないこともあり、1年制の卒業生の方にお話を伺いました。今回お話しをしてくれたのは、現在いした眼科で働いている中村さんで、視能訓練士としては3年目のことでした。

1年制と3年制では異なる部分が多いですが、特に印象に残ったのは、国試対策として、先生に聞くだけではなく、学生同士でも教え合いながら勉強していたということです。自分もクラスメイトと助け合いながら、予習や復習など、日々の積み重ねを頑張っていきたいです。

今回、「卒業生を囲む会」に参加したことで、自分の将来像を、より具体的にすることが出来ました。私たちは10月から臨地実習に行くのですが、自分のなりたい視能訓練士になれるよう、積極性を持って取り組みたいです。この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

「卒業生を囲む会」に参加して

介護福祉学科1年 丹羽 彩心

今回初めて「卒業生を囲む会」に参加し、先輩方のリアルな日常を聞いたことで、普段の授業の大切さ、これから重ねていく実習の重要性に改めて気付くことができ、自分が今後努力して身に付けていかなければならないスキルも明確にすることができました。

実際に先輩方が体験した痙攣を患う利用者様への関わり、発作時の対応、夜勤での心細さ等、今の私には全て新鮮で、介護福祉士を取得するだけでなく、その先の就職してからの自分の姿を真剣に見据える時間となりました。

今は学校や先生方・友人やクラスメイトに支えられ守られていますが、その環境に感謝すると共に、1日1日を大切に後悔がない日々を過ごしていきたい、と強く思っています。利用者様だけでなく、家族と一緒に働くスタッフの方々等、全ての方々に信頼していただける介護福祉士を目指し、スキルアップや自己実現を図ってまいります。

令和4年度 子ども心理学科実習科内発表会

令和4年9月29日(木) 実施

「科内発表会を終えて」

子ども心理学科3年 亀井 志帆

保育園・児童福祉施設・幼稚園のグループに分かれ、自らがテーマを決め、実習科内発表会を行いました。

8階マルチメディアホールでの発表に向けて、各々が伝えたいことを聞き手が聞きやすい方法で伝えるために、皆、試行錯誤しながら準備を行いました。実習で体験したことや学び、後輩に向けてのアドバイスについて、自らの言葉で語り、後輩に繋げていくことを通じて、子ども心理学科の学びの伝統継承が出来たと思います。実習は、楽しい事だけではなく、辛かったこと、苦しかったことも多々あります。友人と支え合いながら乗り越えることが出来たことなど、この機会に実習を再度振り返るきっかけにもなりました。

後輩たちにとってもこの発表が希望や勇気が変わってくれたら嬉しく感じます。皆さん頑張ってください！！



専門学校生らしい「各学科のイロ」を出そう

進路室長 橋野 幸男

「自己理解」「企業研究」や「履歴書」作成など就職活動の準備では、自ずと各学科の学修スタイルが反映されたり、学科特有のスキルが発揮されたりするのではないのでしょうか。

例えば、福祉医療の各学科では、**実習時**に、「個人票」・「実習計画書」作成、事前学習、オリエンテーション、実習、「評価」受け、「振り返り」、学科内発表や経験・情報の共有、といったプロセスを辿ります。「個人票」には、今回の実習に関わる項目のほかに、「自己紹介」「自覚している性格」「実習歴、学んだこと」「ボランティア歴」「取得資格」「趣味・特技」など、「履歴書」の『自己PR』に関連する項目、つまり自身の「たな卸し」が並んでいます。また、「振り返り」を踏まえて「**次の課題の設定**」「**自己理解やキャリア観の向上**」を行なうという一連のプロセス〔**経験学習モデル**〕のサイクルは、皆さんの**職業能力の各階層**〔**専門性、基礎力、マインド・職業観**〕での「**成長**」が表現されるサイクルでもあります。そして、それらの内容は、**実習回数を重ねるごとに更にバージョン・アップ**されていきます。履歴書記載事項や面接応答の最大の「情報源」は、ここにあるはずだ。

次に、電子情報・エンタメ系の学生についてです。メガヒット・コミック『**ジョジョの奇妙な冒険**』の原作者・荒木飛呂彦氏は、その著書『**荒木飛呂彦の漫画術**』（集英社新書、2015/4 発行）で、「**キャラクターの性格設定の際、必ず『身上調査書』を書く**」ことを明らかにしています（同書には、手書きの「身上調査書」のフォーマットが掲載されています）。

一 **身上調査書があれば、絵のイメージも自ずと生まれてきますし、キャラクターを考えながら同時にストーリーが出来上がることもあります。～ 身上調査書の項目は60近くあり、～ 普通の履歴書が下敷きになっていますが、そこにキャラクター作りに必要と思われる項目をどんどん足して行って、現在のような形になりました。～ 漫画家を目指すのであれば、身上調査書作りは、ひとつの訓練と考えてやってみましょう。キャラクターの身上調査書を作る前に、練習として、『自分』『友人、知り合い、家族』『憧れのヒーロー』などを対象に作成してみるといいと思います。～**

この時、気をつけなければならないのは、「長所ばかりでなく短所も考える」ということです。～ そして、その短所は、「短所に悩み、それを克服しようとする『努力』を描く」ことにつながっていきます。キャラクターを描くときに最も大切な基本は、成長するように描いていく、ということですが、こうした「努力」を描くことによって、すなわち人間としての成長を描くことができるのです。～

同分野で学ぶ学生は、このような身近にあるノウハウを、ぜひ、自己理解や履歴書・エントリーシート 上での自己表現に応用しましょう。他学科の学生以上に、「**立体感**」ある形で自分をアピールできるはずだ。

「職業実践専門課程」らしい各学科の学修スタイルや学んでいる技術・スキルなどを活用する、もっと「**学科のイロ**」を出す、ということをお心掛けしましょう。


企画広報室より

企画広報室 小林 昌人

だんだんと寒い日が増えてきました。新型コロナウイルスやインフルエンザなど、気になる感染症対策をしっかりして、本格的な冬に備えましょう。

さて、今年度も10月から入学願書の受付が開始され、10月22日(土)に第1回入学選考が終了しました。今年も多くの受験生が合格し、中村学園の新しい仲間が増えています。在校生の皆さんにも、CANスカラシップの方を中心にオープンキャンパス等で協力してもらったことが実を結んできています。これからの時期は高校生に加えて、社会人経験者や大学生の進路変更者等が多く来校します。皆さんの中にも同じような経緯で入学している方もいると思います。今後も継続してオープンキャンパス等で自分の経験談などを伝えてあげてください。

また、11月からは高校2年生対象のオープンキャンパスを開催します。これから進路を考えるにあたり、在校生の経験談を聞かせてあげてください。どのような経緯で現在の分野に興味を持ったか、大学と専門学校の違いなど、自分が進路を考える際に困ったことや参考になった話をしてあげてください。皆さんの周りでも本学の分野を希望している知り合いの方がいれば、ぜひオープンキャンパスへ誘ってあげてください。


 第2回入学選考日程

○入学選考日：令和4年11月19日(土)

特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考

○出願受付期間：～11月18日(金) 15時必着


 オープンキャンパス

○11/ 5 (土) 両校13:15～

○11/17 (木) 両校17:00～

○12/ 3 (土) 両校13:15～

○12/15 (木) 両校17:00～



※第2回目以降の入学選考日程・オープンキャンパスの詳細はHP・募集要項をご覧ください。

